

中国産冷凍食品による健康被害事例に係る対応について

1 概要

平成20年1月30日厚生労働省から、兵庫県および千葉県において、ジェイティフーズ株式会社(東京都品川区)が中国から輸入した冷凍ギョウザ(製造者：中国河北省 天洋食品工場)が原因と疑われる中毒事例が発生した旨の情報提供がありました。

厚生労働省、農林水産省および全国各自治体では、関係事業者への販売の中止および回収等の措置、消費者等への注意喚起が行われているところです。

(1) 自主回収対象品：輸入業者19社、88品目 (厚生労働省 H20.1.31公表)

(2) 全国の健康被害事例の発生報告数 (資料：厚生労働省 H20.2.3 15時現在)
 健康被害の確定事例：10人 (千葉市2人、市川市5人、兵庫県高砂市3人)
 受付件数：2,117件(うち、健康被害の疑われる事例：844人)

(3) 有機リン系殺虫剤「メタミドホス」の検出状況

	メタミドホスが検出された食品名	発表者
1	「中華 de ごちそう ひとくち餃子(ジエイティフーズ)」	兵庫県警
2	「COOP手作り餃子(ジエイティフーズ)」	千葉県警
3	「COOP手作り餃子(ジエイティフーズ)」	日本生協連

2 県の対応

(1) 販売店への立入

ア 流通施設の調査(1/31～2/1)

(ア) 輸入業者から納入を受けていた**9卸売施設**の入出荷状況の調査・自主回収要請

(イ) **70の量販店**(平和堂、丸善など)へ販売自粛確認・自主回収要請

イ 県内流通の中国産冷凍野菜等(**12検体**)の収去検査(2/4)

(2) 県民への情報発信

ア 危害発生防止に向けて県民への情報発信

(ア) 報道機関(**2回発表**): 1/31(第1報)、2/1(第2報)

報道機関(**3回提供**): 2/2(第3報)、2/3(第4報)、2/4(第5報)

(イ) 県ホームページに回収対象製品等の緊急情報掲載(**更新7回** 1/30～2/4)

(ウ) 「県政eしんぶん」に県内の調査状況掲載(**4回**)

(I) 「食の安全プチ通信」にて、事件の発生速報を発信(2回)

(3) 県民からの相談受付(1/31~2/4 15時現在)

受付件数: 106件

うち、当該食品を食べて健康被害の疑われるものの面談による調査事例:

34人(男22人、女12人) 主な症状: 嘔吐、吐き気、下痢

(4) 食品等の検査

	健康異常を訴えた相談者から受けた残品の食品名	検体数
1	中華deごちそうひとくち餃子(ジェイティフーズ(株))	5
2	お弁当大人気!豚肉のゴボウ巻き(ジェイティフーズ(株))	2
3	ピリ辛カルビ炒飯(味の素冷凍食品(株))	2
4	CO・OPビーフカレー甘口(日本生活協同組合連合会)	1
5	CO・OPビーフカレー辛口(日本生活協同組合連合会)	3
6	焼肉丼((株)神戸物産)	1
7	不明(餃子12個入り)	1
15検体(殺虫剤「メタミドホス」すべて不検出)		合計 15

(5) 医療機関への依頼

- ・農薬による健康被害事例の発生と当該急性中毒に対する処置方法の連絡
- ・当該関係患者を診断等した場合の保健所への通報依頼

(6) 社会福祉施設への通知

- ・自主回収対象食品を使用しないこと。
- ・疑わしい事例が発生している場合には保健所への通報依頼

(7) 教育委員会(スポーツ健康課)に回収対象製品リスト等の提供

(8) 県警(捜査一課)との連携

- ア 健康被害者の情報交換
- イ 残品検査(滋賀県警察本部刑事部科学捜査研究所)

(9) その他

- ア 厚生労働省からの情報を受け、即時、庁内関係部局に情報を提供(1/30)
- イ 事態の重大性に鑑み、臨時健康危機管理調整会議を開催(1/31)
- ウ 2/2(土)2/3(日)休日における相談対応
保健所・食の安全推進室は、県民からの相談に対応できる執務体制を整備した。